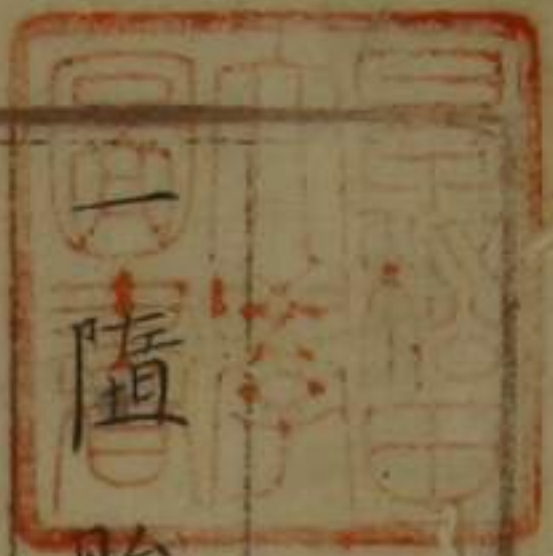
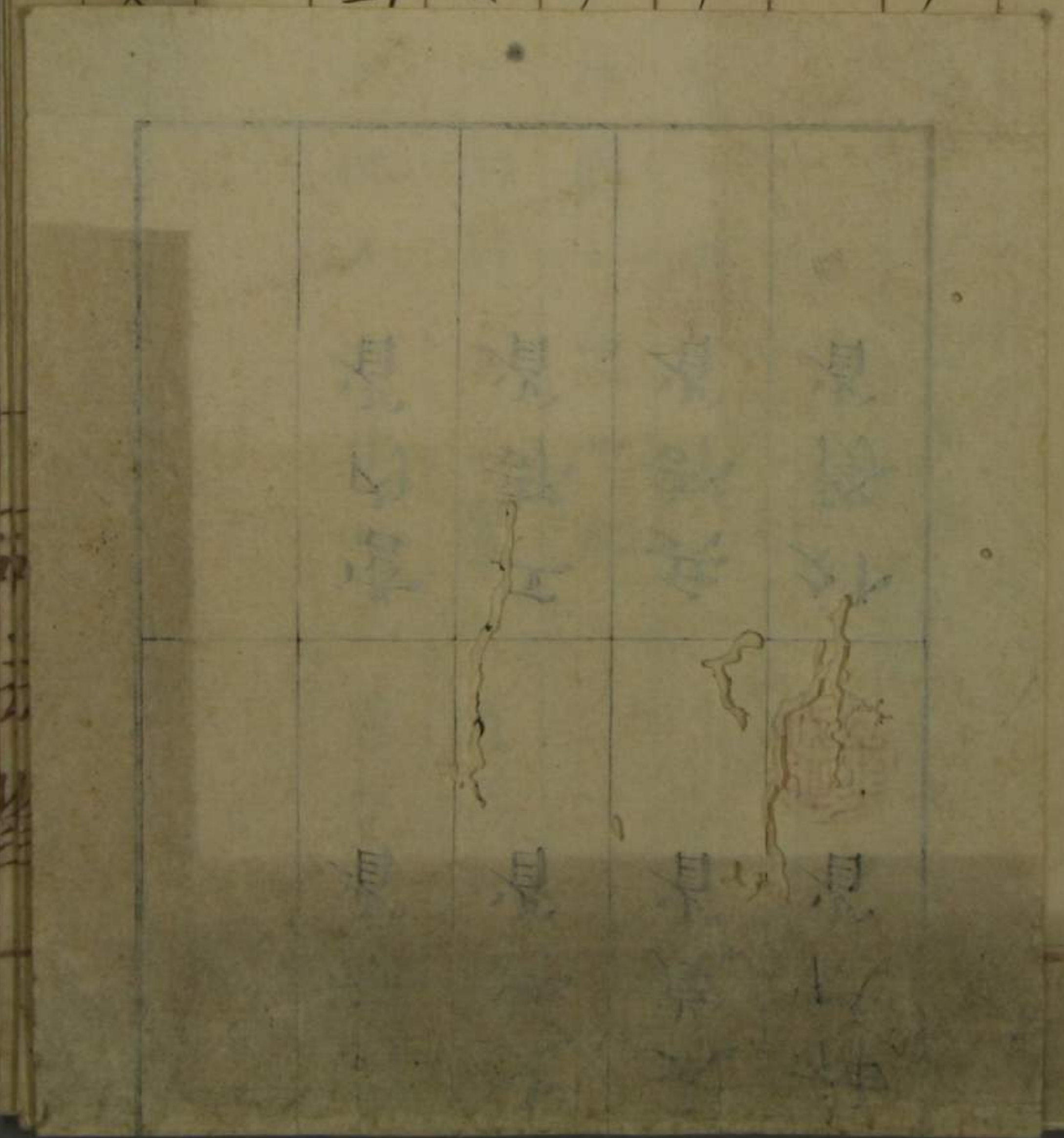


一 産婆雇ヲ受  
 一 弃ル者  
 一 財ヲ貪ル為  
 一 他人ノ子女  
 一 己ノ子女ヲ  
 一 己ノ子女ヲ  
 行ノ者  
 一 墮胎ノ藥ヲ



414  
A2632

十月七日  
二



大正十一年  
候前

贈与

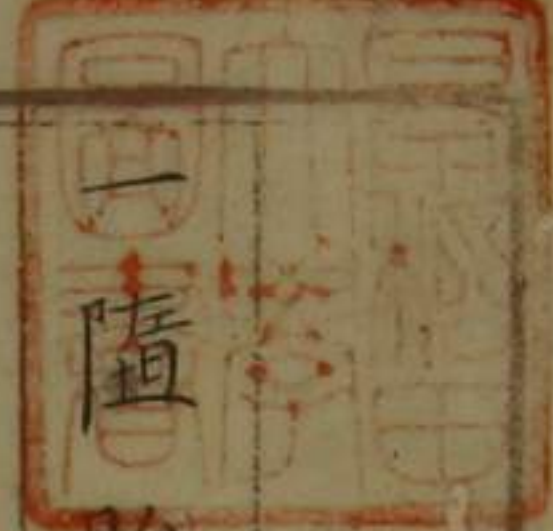


4193



114  
A2632

十月七日  
第 二



一 墮胎ノ藥ヲ賣買シ及ヒ墮胎ノ術ヲ

行フ者

一 己ノ子女ヲ弃ル者

一 己ノ子女ヲ外國ニ賣ル者

一 他人ノ子女ヲ勾引シテ賣ル者或ハ

一 財ヲ貪ル為ノ他人ノ子女ヲ貰受テ

弃ル者

一 産婆雇ヲ受ケ孩兒ヲ殺ス者

司法省

大正十一年  
候前

贈与



4193

司 文 大 神

買シ及ヒ隨胎ノ術ヲ

ル者

國ニ賣ル者

勾引シテ賣ル者或ハ

他人ノ子女ヲ貰受テ

孩兒ヲ殺ス者

大正十一年  
大隈侯爵

贈丹



4193

刑法省

神祇省

大藏省

文部省

司法省

外務省

兵部省

工部省

宮内省



一養。純母。父祖ノ妻。姑姪妹。子孫ノ婦。兄  
弟ノ女。母ノ姪妹。兄弟ノ妻妾。前夫ノ  
女。異父姪妹ト姦通シ。或ハ相娶ル者。

大正十一年  
大隈侯爵

別紙ニ掲ル犯罪ハ御維新ノ今日無之  
筈ニ候得共愚昧ノ者從來ノ習弊ニ混  
ニ全ク心得違ヨリ之ヲ犯レ不料典刑  
ニ觸レ候儀太夕愍然之至心得違ノ者  
無之様兼テ右地方官ニ於テ告諭有之  
度依テ御布告案相添此段奉伺候也

辛未十月

司法大少輔

正院  
御中

司法省

大正十一年四月  
大隈侯爵奇贈

御布告案

右等ノ犯罪ハ風俗倫理ニ關係スル至  
大ニ付其罪輕カラスト雖モ愚昧ノ者  
從來ノ舊習ニ泥ミ全ク心得違ヨリ之  
ノ犯シ不料典刑ニ觸レ良者ト云々甚愍然之至右  
等ノ犯罪無之様兼テ各地方官ニ於テ  
告諭可致事



略賣人條附

一 凡人ヲ略シテ外國ニ賣ル者ハ成否  
ヲ論ヤス。皆流三等。因テ人ヲ殺傷ス  
ル者ハ皆斬。其和誘スル者ハ一等ヲ  
減シ。誘ヤラル人ハ三等ヲ減ス。若  
シ子孫ヲ略賣スル者ハ徒一年。和賣  
スル者ハ一等ヲ減ス。和略亦ク成ラ

天  
五  
十  
一  
日

サル者ハ。又和略ノ罪ニ一等ヲ減ス。  
賣ラルノ卑幼ハ。和スト雖モ。坐セ  
ス。

謀殺條附

一 凡穩婆。人ノ雇ヲ受ケ。孩兒ヲ殺ス者  
ハ。謀殺加功ヲ以テ論シ。絞。

毒藥殺人條附

一 凡墮胎スル者ハ。各杖七十。

移地界内死屍條附

司  
法  
省

一 凡子女ヲ棄ル者ハ。杖一百。雇ヲ受テ  
棄ル者ハ。杖九十。

一 凡財ヲ囚リ。人ノ子女ヲ乞養シテ棄  
ル者ハ。流三等。殺ス者ハ。斬。

一 親族相茨本律

一 凡父祖ノ妾姑姊妹。及こ子孫ノ婦。兄  
弟ノ女ヲ茨スル者ハ。各流三等。強茨  
スル者ハ。斬。

若シ。母ノ姉妹。及こ兄弟ノ妻。姪ノ妻

ヲ茨スル者ハ。各流一等。強茨スル者  
ハ。絞。妾ヲ茨スル者ハ。各一等ヲ減ス。  
強茨スル者ハ。絞。

若シ。前夫ノ女。同母異父姉妹ヲ茨ス  
ル者ハ。各徒三年。強茨スル者ハ。絞。

親族相茨條附

一 凡養子。養母ヲ姦スル者。養。各流三等。  
繼母ヲ姦スル亦同。



一 第一箇條ヨリ第二箇條ニ至リ異論無シ

一 第三箇條

略賣人ハ新律ニ於テ賊盜律ニ加ヘテ論スル其  
條理ヲ欠ク者ノ様被存候其故如何トナレハ賊盜律  
ヲ以テ之ヲ論セハ其賊ノ多ク少ク算シ罪ノ輕重ヲ論  
セサルヲ得ス且ツ同律ヲ以テ之ヲ論セハ人モ物モ同シク  
贓物トナルナリ今人ノ子女ヲ略賣スル者ハ罪ニ等流  
トナル時ハ品物ヲ盜ミ外國ニ賣ルモ亦同シク流ニ處セ

天正十一年四月贈

サルヲ得サルナリ且新律ニ盜官私牛馬ハ竊盜ニ準  
シテ論ス並ニ罪流三等ニ止ルト云ヘリ推シテ之ヲ論スハ  
其牛馬ヲ外國ニ賣ル者ハ亦其罪ヲ重クセサルヲ得ス  
然ルニ人ヲ略賣スル者ハ成否ヲ論セス皆流二等外  
國ニ略賣スル者ハ成否ヲ論セス皆流三等トアレハ是  
牛馬ヲ以テ人ヨリ重シトナスナリ苟モ律上ニ於テ如斯  
ノ理アルヘシヤ且賊盜律ニ乘輿服御ヲ盜ム者皆  
絞ト云ヘリ乘輿服御ハ貴シト雖凡物ナリ人ノ子女

ハ假令輕キ者ノ子女ト雖凡物

天皇ノ赤子トシテ愛護スル所ノ人ナリ如何程貴キ  
品物ト雖凡物ニ比較シ難キヲ知ル可キナリ然ルニ乘  
輿服御ヲ盜ム者ハ皆絞人ノ子女ヲ略賣スル者ハ  
流トナセハ

朝廷彼ノ赤子ヲ愛スルノ意一箇服御ノ物ニ如カス  
トスルヤ且ツ乘輿服御ヲ盜ムト民間ノ牛馬ヲ盜ム  
トハ盜ムモノニ貴賤ノ違ヒ凡故ニ其罪又輕重アリ

然ルニ人ト物トニ至テ輕重ノ差別ナキハ何ゾヤ是レ無  
佗新律上人ヲ以テ物ト同視シ人命律ニ加フヘキ者  
ヲ賊盜律ニ於テ論スレハ也仍テ更ニ商議ヲ加ヘ人  
ノ子女ヲ略賣スル者及ヒ外國ニ略賣スル者人命律  
ヲ以テ論シ度存候其議如左

一人ナル者ハ牛馬ト異ナリ牛馬ナル者ハ物ナリ物ニハ  
自主ノ權ナシ故ニ之ヲ賣ルモノニテ殺スモ其權ヲ犯  
トセス人ニハ自主ノ權アリ生活ノ權アリ然ルニ人ノ子

女ヲ略賣スル者ハ人ヲ以テ牛馬ト均シクスル故ニ人ノ  
自主生活ノ大權ヲ犯セリトス故ニ人命律ヲ以テ  
論ス可シトス

一人ヲ殺セシ者斬或ハ絞ノ律ニ處セラルハ人ノ大權  
ヲ犯ス故ナリ人ノ大權ヲ犯ス者ヲ斬絞ノ重刑ニ處  
セラル所以ノ者ハ人ヲ輕シテ牛馬ト等物トスル故  
也然レハ人ノ子女ヲ略賣スル者ハ人命律中謀殺ノ  
條ヲ以テ論スヘシトス若シ謀殺ヲ以テ之ヨリ重シトセバ我

天皇ノ赤子トシテ愛護スル所ノ人ノ子女ヲ以テ一箇乘  
輿服御ノ物ヨリ賤シク輕ロキ物トナスナリ

一人ノ子女ヲ外國ニ賣ル者ト内國ニ賣ル者トハ人ヲ  
以テ物トスル大罪ヲ犯スルハ同一般ナレハ内外ノ違ヒ  
ハ些サノ事ナリ如何トナレハ苟クモ物ナル以上開港場  
輸出輸入ノ規則ヲ犯スルケケルナレハナリ故ニ内外  
ニ不限人ヲ賣買スルノ律ヲ前條ノ如ク被置度候  
其他ノ略賣ハ司法省ヨリ伺ヒノ如クナルベシ

一 第四箇條ヨリ第六箇條ニ至リ異存無シ

一 第七箇條

兄弟ノ妻ヲ娶ルハ素ヨリ不可欠ノ律ナレ現今ニテハ  
行ハ難キ情實ノ者モアルベケレハ他日民法ノ定ルヲ  
待テ併セテ之ヲ論定スベシ

辛未十月

左院  
左院

太正官